

October 13, 2021

【前日の為替概況】ドル円、米金利先高観から 113.79 円まで続伸 約 2 年 10 カ月ぶりの高値

12日のニューヨーク外国為替市場でドル円は4日続伸。終値は113.61円と前営業日NY終値(113.31円)と比べて30銭程度のドル高水準。米金利の先高観を背景に対円中心にドル買いが先行し一時113.79円と2018年12月以来約2年10カ月ぶりの高値を付けた。ただ、米長期金利の指標である米10年債利回りが低下に転じると、若干伸び悩んだ。明日の9月米消費者物価指数(CPI)や米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨(9月21日-22日分)を前に様子見ムードが強まり、積極的な取引は手控えられた。

クラリダ米連邦準備理事会(FRB)副議長は「インフレリスクは上サイド」「2022年半ばごろに終了するテーパリングが間もなく正当化されるだろう」「テーパリングは利上げ開始のシグナルではない」などと述べたが、相場の反応は限られた。

ユーロドルは続落。終値は1.1530ドルと前営業日NY終値(1.1552ドル)と比べて0.0022ドル程度のユーロ安水準だった。欧州時間発表の10月独ZEW景況感指数が予想を下回り、ユーロ売り・ドル買いを促した。米金利の先高観を背景に主要通貨に対してドル高が進んだ影響も受けて、一時1.1524ドルと昨年7月以来の安値を更新した。主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは一時94.56と昨年9月以来の高値を付けた。

9月26日の独総選挙で第1党になったドイツ社会民主党(SPD、社民党)と第3党の緑の党、第4党の自由民主党(FDP)はこれまでに進めてきた3党による連立交渉をさらに進めるかどうかを15日にも判断するもよう。市場では「15日までに各党の溝をどこまで埋められるかが焦点」との声が聞かれた。

ユーロ円は小幅ながら4日続伸。終値は130.99円と前営業日NY終値(130.87円)と比べて12銭程度のユーロ高水準。円の先安観が強まる中、24時前に一時131.28円と7月6日以来の高値を付けたが、高く始まった米国株相場が下げに転じると上値が重くなった。

カナダドル円は大幅高。WTI原油先物価格が約7年ぶりの高水準で推移する中、産油国通貨とされるカナダドルに買いが入った。1時過ぎに一時91.41円と18年1月以来約3年9カ月ぶりの高値を更新した。同じく産油国通貨であるメキシコペソも対円で一時5.48円まで上昇した。

【本日の東京為替見通し】ドル円、今夜の次期正副 FRB 議長指名の可能性から上値は限定的か

本日の東京外国為替市場のドル円は、WTI原油先物価格が80ドル台で高止まりしていることで、原油価格上昇に脆弱な日本売り(円売り、日本株売り)継続で底堅い展開が予想される。しかしながら、今夜は9月米消費者物価指数(CPI)や米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨(9月21日-22日分)の発表を控えていること、そして次期正副FRB議長指名の可能性があるので、ドル買い持ちポジションの利食い売りで上値は限定的だと予想される。

本日、タカ派のクォールズFRB副議長が任期満了となることで、次期FRB副議長の人選が注目だ。さらに、倫理規定違反で辞任したタカ派のカプラン米ダラス連銀総裁やローゼンブレン米ボストン連銀総裁、そして倫理規定違反を指摘されているタカ派のクラリダFRB副議長に対する監督責任により、パウエルFRB議長も来年2月の任期満了で辞任する可能性が高まっていることで、次期正副FRB議長が指名される可能性が警戒されている。

トランプ第45代米大統領がパウエルFRB理事を第16代FRB議長に指名する、と報じられたのは2017年10月19日だった。第17代FRB議長としては、イエレン米財務長官が第15代FRB議長時代に隣部屋同士で仲良くしていたハト派のブレイナードFRB理事の名前が挙がっている。11月の米連邦公開市場委員会(FOMC)でのテーパリング(資産購入の段階的縮小)開始を示唆しているパウエルFRB議長や3名のタカ派メンバーがいなくなり、筋金入りのハト派であるブレイナード第17代FRB議長が誕生した場合、2022年の利上げの可能性がやや低下することになる。

ドル円の上値を抑える要因としては、中国恒大集団のクロスデフォルトの可能性や中国大手不動産会社のデフォルト(債務不履行)への警戒感が挙げられることで、関連ヘッドラインに要警戒となる。

ドル円のオーダー状況は、上値には、113.80円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、114.00円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、113.00円にドル買いオーダーと13日、14日、15日のNYカットオプション、112.80円にはドル買いオーダーが控えている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◎ 8月機械受注（予想：船舶・電力除く民需 前月比 1.7%／前年比 14.7%）
- 08:50 ◇ 9月マネーストック M2（予想：前年比 4.3%）

<海外>

- 08:30 ◇ 10月豪ウエストパック消費者信頼感指数
- 未定 ◎ 9月中国貿易収支（予想：450.0億ドルの黒字、2867億円の黒字）
- 15:00 ◎ 9月独消費者物価指数（CPI）改定値（予想：前月比横ばい／前年比 4.1%）
- 15:00 ☆ 8月英国内総生産（GDP、予想：前月比 0.5%）
- 15:00 ◎ 8月英鉱工業生産指数（予想：前月比 0.2%／前年比 3.1%）
- 15:00 ◎ 8月英製造業生産高（予想：前月比横ばい）
- 15:00 ◇ 8月英商品貿易収支／英貿易収支（予想：120.00億ポンドの赤字／28.00億ポンドの赤字）
- 18:00 ◎ 8月ユーロ圏鉱工業生産（予想：前月比▲1.6%／前年比 4.7%）
- 20:00 ◇ MBA住宅ローン申請指数
- 20:00 ◇ 8月南アフリカ小売売上高（予想：前年同月比 2.6%）
- 21:30 ☆ 9月米CPI（予想：前月比 0.3%／前年比 5.3%）
☆ エネルギーと食品を除くコア指数（予想：前月比 0.2%／前年比 4.0%）
- 23:30 ◎ カンリフ英中銀（BOE）副総裁、講演
- 14日 02:00 ◎ 米財務省、30年債入札
- 14日 03:00 ☆ 米連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨（9月21日－22日分）
- 14日 04:15 ◎ ビスコ伊中銀総裁、20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議後の記者会見
- 14日 05:30 ◎ ブレイナード米連邦準備理事会（FRB）理事、講演
- G20財務相・中央銀行総裁会議（最終日、ワシントン）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

12日 07:52 金正恩・北朝鮮委員長
「米国が敵対的でないと信じる理由がない」
「主な敵は戦争であり、米韓のような特定の国ではない」
「米国の政策、地域の緊張を高めている」
「北朝鮮は軍事力の強化を継続する」

12日 09:47 鈴木俊一財務相
「MMT理論、日本を壮大な実験場にするわけにいかない」
「国際課税、課税上の対応に関する歴史的合意を強く歓迎」

12日 11:21 国際通貨基金(IMF)理事会声明
「ゲオルギエバIMF専務理事への全面的な支援を再確認」

12日 11:32 李・韓国中銀総裁
「次回会合で利上げの判断を行う」
「今回の会合で2名が利上げを主張した」
「8月の利上げは実体経済の重しになっていない」

12日 16:25 岸田首相
「為替変動が企業に及ぼす影響を注視する」
「円安は輸出促進につながる一方、輸入価格の上昇が企業コスト上昇につながる」

12日 20:55 ビルロウドガロー仏中銀総裁
「賃金スパイラルの兆候はほとんど見えない」
「パンデミック緊急購入プログラム(PEPP)はおそらく3月に終了するだろう」

12日 22:10 国際通貨基金(IMF)
「21年の世界GDP予想を7月時点の6.0%から5.9%に引き下げ」
「21年中国GDP予想は8%、22年予想は5.6%」
「21年米GDP予想は6.0%に下方修正、22年予想は5.2%」
「21年ユーロ圏GDP予想は5.0%、22年予想は4.3%」

12日 23:35 ボスティック米アトランタ連銀総裁
「米雇用減速はテーパリングの予定を狂わせるものではない」
「11月のテーパリング開始を支持」

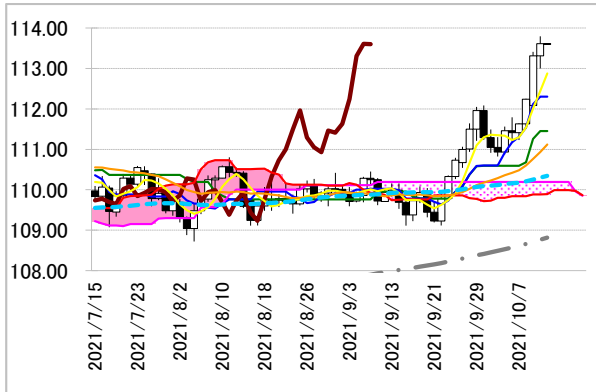
「サプライチェーンの問題はおそらく当初の予想よりも長引く可能性」
「インフレ率は今後も2%を超える可能性」

13日 00:18 クラリダ米連邦準備理事会(FRB)副議長
「インフレリスクは上サイド」
「テーパリング終了は2022年中頃が正当化される」
「テーパリングは利上げ開始のシグナルではない」

13日 05:37 ブラード米セントルイス連銀総裁
「11月のテーパリング開始を支持」
「テーパリングを2022年第1四半期までに終了したい」
「労働市場に活気がある。失業率は来春には4%を下回る公算」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

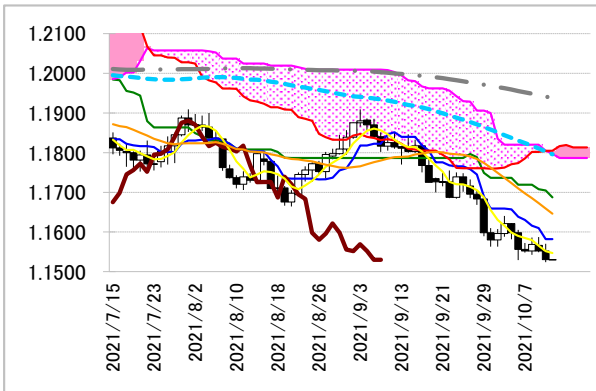


<ドル円=10/12 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。4手連続陽線で上昇し、転換線を上回って引けており続伸の可能性が示唆されている。

本日は、10月12日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	115.51 (2017/3/10 高値)
レジスタンス 1	114.55 (2018/10/4 高値)
前日終値	113.61
サポート 1	113.00 (10/12 安値)
サポート 2	112.31 (日足一目均衡表・転換線)

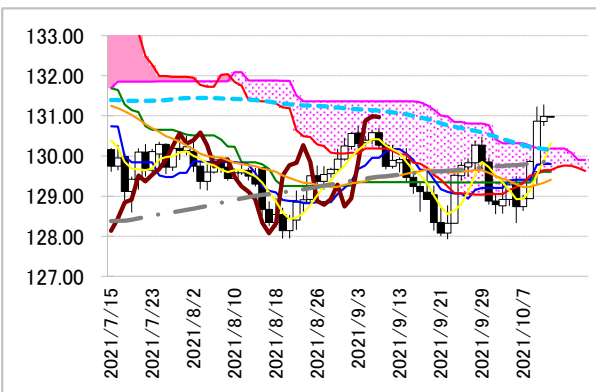


<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。2手連続陰線で下落して転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1582 (日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1530
サポート 1	1.1423 (2020/7/21 安値)

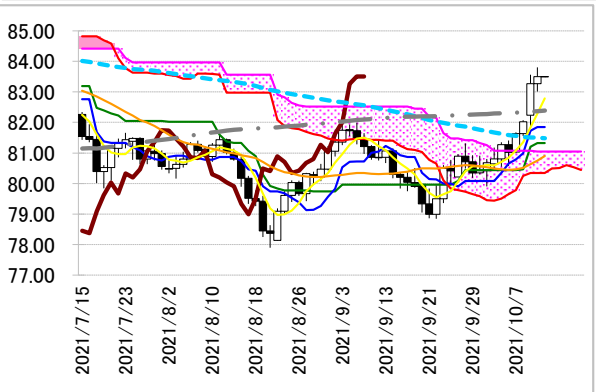


<ユーロ円=雲の上限を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。4手連続陽線で上昇し、転換線を上回って引けており続伸の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	131.87 (7/5 高値)
前日終値	130.99
サポート 1	130.19 (日足一目均衡表・雲の上限)



<豪ドル円=10/12 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。4手連続陽線で上昇し、転換線を上回って引けており続伸の可能性が示唆されている。

本日は、10月12日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	84.20 (7/6 高値)
前日終値	83.51
サポート 1	83.01 (10/12 安値)

